



ひまわり通信

日本共産党控室
市川市八幡1-1-1
334-1111 (18219)

日本共産党
市川市会議員

ひろた徳子



2023.10 N094

9月議会



9月議会に提出された議案に対し、共産党市議団は、次の2つの議案に反対しました。

○議案第30号 市川市国民健康保険条例の一部改正について

この間、国保税について「市川国保をよくする会」を立ち上げ、学習会を行ない、酷暑の中、駅頭などで請願署名に取り組みました。団体、地域のみなさんの協力で集めた署名は、2879筆でした。

この議案に反対したのは、共産党4、市民クラブ4、れいわ1の9名、賛成多数で可決。請願は、共産党4、れいわ1の5名の賛成、反対多数で否決されました。今後、値上げは継続的に行われる計画もあり、さらに問題点を明らかにし、運動を強めていきます。

○議案第34号 市川市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について

これは、大野第5駐輪場を民営化するという議案です。現在市川市内に42カ所に市営駐輪場があり、そのうち市有地は12カ所。ここを順次民営化していくというものです。民営化で民間のノウハウを活用し、

市民サービスの向上、維持管理コストの削減を理由にしていますが、民営化された後は、人件費や駐輪場使用料まで、市が介入することが出てくる結果、サービスの低下や使用料の値上げが懸念されるため、反対しましたが、賛成多数で可決されました。

私、廣田が代表質問しました

○デジタル地域通貨について

八幡地域の店舗で利用できる地域通貨『ICHICO』（イチコ）は、実証実験中です。

当初の目的は、中小零細企業の下支え、上限3万円の30%のプレミアムポイント付与での市民への還元でした。この間の物価高騰で、市民は大手スーパーで食品や生活用品を購入。さらに、検証し市内全体に広げるとしていましたが、今後については不明、検証結果を市民に知らせよう求めました。

○公共施設マネジメントについて

斎場やクリーンセンターの建替えを優先するため、老朽化している市内の公共施設の建替えを当初の計画より3〜4年程度遅らせるという。

学校や公民館、ふれあい館など自然環境や住民に寄り添った公共施設の在り方を計画するように要望しました。

○国民健康保険について

だれもが安心していつでも医療を受けられる保険制度になっているか、また保険証廃止についての市の見解、保険税の見直しを、反対の立場で求めました。

○地球温暖化対策について

第二次市川市地球温暖化対策実行計画の二酸化炭素排出量の目標は、2030年までに35%減にするというものでしたが、国が見直したため、50%削減に変更しました。しかし、具体的な施策は、第三次が始まる令和七年度までに作成するといっています。早急に取り組み、市民への周知を求めました。

○新湾岸道路について

これまでの第二東京湾岸道路の計画はそのまま残し、市川高谷ジャンクションから蘇我ー市原間の検討準備が始まっています。三番瀬保全について問うと、「『千葉県三番瀬再生計画』との整合性を含めた、地域の生活環境に配慮した計画となるよう、沿線市と共通認識をもって取り組んでいく」と、答弁しました。

○塩浜2丁目護岸干潟整備に向けた

モニタリング調査の実施について
モニタリング調査結果を市民に知らせよう求めました。

塩浜2丁目護岸干潟整備に向けた

モニタリング調査について、

9月11日「要望書」を提出しました



9月議会の補正予算に出された、農林水産業費の振興費海域環境調査委託料 2千4百万円。これは塩浜2丁目護岸前面海域における覆砂作業に必要なモニタリング調査などを行う費用です。県が断念したことからも、三番瀬の環境や費用面でも本来賛成できるものではありません。人工干潟などで千葉県三番瀬再生計画の原則である「海域をこれ以上狭めない」ことと、今回のモニタリング調査をしていく上で、定期的に調査の過程、結果を文書で報告するように求めました。

地域の要望を提出しました（原木地域・行徳地域）

9月26日、市民アンケートに寄せられた要望を地域ごとにまとめ、提出しました。行徳地域は、区画整理の際、歩道と車道の段差を大きくしたことのなごりで、段差があり、今後、整備をしていく中で改修しても、民家があることからそれほど変えられないとのことです。

原木地域は、大雨になると冠水する所が多く、排水対策が急がれます。また地盤が軟弱なため凸凹になりやすく、大型車の通行が多い事もあり、なかなか良くなりません。子どもも高齢者も安心して暮らせる街を望みます。



無料法律相談

次回11月14日(火)午後2時より
市役所 6F 共産党控室にて

1人30分、事前予約が必要です。
334-1111 内線18219
までお電話ください。



塩焼小での防災訓練の様子

ひとりごと…私の自宅マンションの自治会は、4年ぶりに「夏祭り」を「秋祭り」に変更して9月16日に行なわれました。翌17日、同じく4年ぶりに小学校区で行われた防災訓練に参加しました。通学地域内から自治会ごとに集まり、避難所である小学校に来るところから始まり、避難者名簿の作成が終わると、煙中脱出訓練、初期消火訓練、地震体験訓練などにそれぞれ分かれ、説明を受けました。

特にAED取扱い・心肺蘇生については、繰り返し訓練しておかないと役に立ちません。11月には自治会独自で、訓練を予定しています。災害は来てほしくありませんが、いざというときのために、市川市地区別減災マップや水害ハザードマップなど家族で広げて、家のあるところなどを確認してみませんか。

